

[た よ り]

富山県支部だより

横田 力

富山県の透析患者数は現在 1,922 名（平成 13 年 12 月）、透析施設は 35 施設であるが、医会加入者は残念ながら僅か 8 名（5 施設）に過ぎない。しかし、支部主催の講演会などを通しての活動は毎年継続的に行ってきた。

最近の数年間では

1. 平成 12 年 4 月 23 日

「富山市透析施設大規模災害対策協議会の取り組みについて」

不二越病院院長 三川正人先生

「透析施設に於ける危機管理と災害ネットワーク」

(医)社団心施会府中腎クリニック

理事長 杉崎弘章先生

2. 平成 13 年 4 月 22 日

「透析施設に於けるクリニカルパスの作成と運用」

済生会熊本病院腎センター部長 副島秀久先生

3. 平成 14 年 4 月 21 日

「新人看護師の教育—専門性を育てる」

日本腎不全看護学会理事長 宇田有希先生

「高齢者の治療をどの様にすべきか」

日本透析医会名誉会長 平澤由平先生

など逐次開催し、県内の透析施設スタッフ多数の参加を得る盛況であった。

さらに腎バンクとの共催で、昨年 12 月 9 日「透析合併症—トラブルおよび腎移植の意義」と題して東京女子医科大学名誉教授、腎臓病総合医療センター名誉所長、太田医学研究所所長 太田和夫先生の講演会を開催し、これも非常に好評であった。なお、毎年 10 月には腎バンクと協力してドナー登録のキャンペーンも行っている。

冒頭にも記したが、未加入施設の中にはもう少し医会に入りやすいような条件を考えて欲しいという声もあるので、加入の条件をある程度緩和して会員の増加を計ることも今後の一つの課題として検討して欲しい。